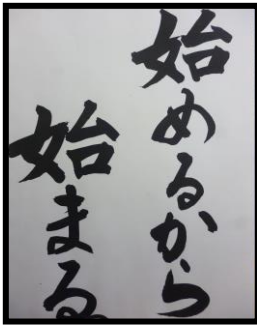




開知

令和6年3月22日号

佐世保市立世知原小学校
校長 兼 正晴



終わりは、次へのスタート
終わりと同時に、次を始める。
始まるではなく、始めるでありたい。
～卒業式で、子供たちに伝えた言葉～

(二一チエ)

令和5年度終了

朝の登校、1年生が二人、仲良くお話ししながら歩いていました。すると、地域のお店の方と自然な形であいさつを交わしていました。「おはようございます。」「おはようございます。行ってらっしゃい。」そして、朝の音楽「学校坂道」が聞こえてくると、二人は学校に向かってかけていきました。朝から清々しい気持ちになりました。

今年度も無事終了しました。充実した学校生活だったためか、昨年度以上に短かったような気がします。年度当初から、「開知の学び（みんなと学び、心を開き、挑戦する）」をめあてに、子供たちが努力する姿をたくさん目にすることができました。子供たちは、日々の学校生活を大切にしながら、楽しく充実した学習に取り組むことができました。算数の時間等、多くの場面で課題について話し合い、お互いの考えを伝え合う姿が多くありました。そこに「開知の学び」があります。また、学校の始まりである朝の時間の様子が昨年度と一変し、落ち着いた雰囲気での学習が始まっています。特に、高学年の朝ボラは充実していました。卒業前には、6年生が学校中を掃除しており、その姿は低学年の良きお手本となりました。6年生のほうきの使い方も上手になり、意識をもって校内をきれいにしようとしていることがよく分かりました。この姿は、日々の授業を中心とした「開知の学び」の大きな成果だと考えています。さらに、漢字計算検定に対して、多くの子供たちが合格をめざし努力する姿があり、結果も確実に向上しています。そして、卒業式では、そのような子供たちの力が発揮され、感動的な儀式となりました。



今後も、世知原小学校の伝統を大切にしながら、子供たちを第一とした学校を、みんなが心豊かに過ごし、子供たちの成長の喜びのある学校をめざしたいと思います。また、来年度の創立150周年という世知原小学校の歴史の1ページを子供たち、保護者の皆様、地域の皆様と共に心に刻みたいと思います。